

## 議員管外研修

9月20日～22日

議員管外研修を、東京都内こども家庭庁、神奈川県開成町で行った。

### こども家庭庁

令和5年から新たに内閣府に設置されたことを受け、その役割や今後の取り組みなどについて学んだ。

### こども家庭庁の役割

スローガンを「こどもまんなか」とし、大人が中心となってきた社会を子ども中心社会へと作り変えていく。

これまで各省庁で担っていた少子化対策、子どもの貧困、いじめや虐待などの課題について、事務の一元化に

より、子ども政策の司令塔として総合的に調整すること。

### 新たな取り組み

子どもや若者の意見を反映する仕組みづくりや、子ども・若者の居場所づくり、幼児期までの子どもの育ちに関する指針を策定すること。

## 開成町議会

人口増加率が、神奈川県内で1位の町。議会改革・議会活性化等の取り組みについて、開成町議会議員の方々と意見交換を行った。

### 議会改革の主な取り組み

- 通年の会期制の導入  
必要に応じて会議を開催できる。また専決処分がなくなった。
- 日曜議会の開催  
令和4年6月議会で無料託児サービスを実施。傍聴席が満席となる。
- 議会報告会の開催  
町民、自治会、各種団体などを対象に、毎年開催。コロナ禍では動画を配信し、視聴回数が1792回となった。
- 議会広報の改革  
「読む」から「見る」魅せる」改革を行



開成町議会にて

### まとめ

い、タブレット判へ変更。また、議会ウェブサイトを開設し、動画配信している。

### 取り組みの成果

・ 議会だよりについて、賛否が届くようになった。

・ 動画の再生回数により町民の反応が数字として実感できるようになった。

・ 議員自らの「動き」を通じて発信することが浸透し、開かれた議会の実現につながっている。

通年議会の導入については、当議会も検討の余地があると考え、議会報告会については、ご意見を伺う機会を確保する観点からも検討課題とした。

町民の方々に議会を身近に感じていただくための議会活性化の取り組みを検討するうえで、たいへん参考になるものであった。



こども家庭庁の職員より説明を受けた

### まとめ

少子化については、あらゆる視点から取り組んでいるが、なかなか効果が表れないのが現状と把握している。発足したばかりで、現時点では意見聴取や議論段階の検討中であり、今後の動向を注視し展開に期待したい。